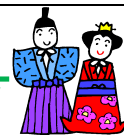


富士山自然学校通信 3・4月号



【アイスクャンドルフェスティバル】

今年度のアイスクャンドルは観光協会の呼びかけで12月7日、1月18日の2度にわたる実施委員会で始まりました。集まったのは観光協会と富士山自然学校（アイスクャンドル）、平野民宿組合（キャンドルと売店）、平野青年部（スカイランタン）、おもてなしの会（焚き火）、きらら（スポーツイベント）の各団体です。当初、2日連続での実施案が検討されましたが、実施上も予算上も無理ということで、従来通りの1日で、2月11日実施が決まりました。自然学校からはここ数年実施の7重サークルで1100個の小キャンドル、16個の中キャンドル、8個の大キャンドルを用意する案を提案しました。1度目の実施委員会の後、観光協会から「民宿組合からサークル中央には砂と切り株で盛り上げたマウンドを置きたいと言って来ている」と連絡がありました。こちらからは「中央にマウンドを作られるとサークルのコンパスの起点がとれなくなる」と再考をお願いしましたが、どうしても実施したいとのことで、協会と相談の上、「サークル十字部分の幅が広がって間延びするが、コンパスの起点を4カ所に分けてやってみよう」ということになりました。

当初、ペットボトル・牛乳パックの作業から始める予定でしたが、幸いにも協会から「2000個分の作業が完了した」との連絡があり、その作業はなくなりました。次はポリバケツを使った大・中の氷作りです。1月26日・29日・31日の3回で、冷凍車を使った氷作りが終わりました。今年は作業の様子を知ってもらうため、毎回、協会・平野からも参加していただきました。

事前作業で大変なのが2000個の小氷作りです。2月3日に12名の参加で行い、協会・平野からも沢山の方が参加してくれました。冷凍車への積み込みも含め、午前中の早い時間帯で完了しました。

2月11日（土）キャンドル当日

午前中に4分割7重サークルの線引きを行いました。前日に協会を中心に3000個のプラカップの配備がすんでおり、サークルのすぐ近くまでプラカップが置かれているため、メインキャンドルの設置場所には苦慮しました。

午後は1時から会員打合せを行い、1時半からアメリカ海兵隊の協力も得て小キャンドルの開封作業に入りました。「上げ底」等の不良品もかなりありましたが、出来るだけ使用することにしました。2時半過ぎからキャンドルの積み出し・配列です。配列がすんだあたりから早くも点火の呼びかけがあり、来場者も参加してキャンドルが点火されました。寒さで着火し難いきらいはありましたが、幸いに風は弱く、間もなくキャンドル全体が点灯しました。

今年は点灯式がなく、村長・観光協会長の挨拶などのオープニングセレモニーが4時過ぎに行われ、自然学校の紹介もありました。

ステージ前の芝生では平野民宿組合青年部により「スカイランタン」（希望者が有料で申し込み）が打ち上げられ、18時から例年のように花火が打ち上げられました。

今年は売店の数も多く、大勢の参加者で賑わいましたが、原っぱでのキャンドルは、中央に大きなキャンドルが使われなかったことなど、従来とはかなり違った感じになりました。





* 2月21日(水)に予定されていた野鳥観察会は、8名の申し込みがありましたでしたが、雨天のため、中止となりました。

【フクジュソウやマンサクが咲いています】

2月以降、度々雪に見舞われる山中湖ですが、朝晩の陽は伸び、段々と春が近づいています。きららでもいち早くフクジュソウやマンサク（「先ず咲く」から名付いたとか）の花が開いてきました。駐車場ゲートの横では、アカバナマンサクもオレンジ色の花を咲かせています。



【4月の予定】

4月8日(月) 会員集会

開催場所 旭日丘公民館

開始時間 午後1時30分

新年度の行事予定（エコウォーク・会員観察会など）についてご意見を伺います

4月24日(水) 山中湖・早春の花（会員観察会）

集合場所 きらら管理棟（11時頃解散予定）

集合時間 午前9時30分

みさきのヤマエンゴサク、山中浅間神社のホソバナアマナ等、この時点で見られる花を観察します（車で移動）

4月28日(日) 山中地区散策（山中湖エコウォーク）

集合場所 湖畔駐車場（諏訪神社参道入口前）

集合時間 午前9時30分（11時半頃解散予定）